

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和2年7月20日(月)
午後2時39分から午後3時1分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 関戸郁文 (副委員長) 谷平敬子
(委員) 片岡健一郎、水野忠三、宮川隆、堀 巖、梶谷規子
- 5 説明員 なし
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) 令和2年度政策提言について

関戸委員長：前回5つ提案があり、それぞれ皆さん学習されたと思うが、追加で何かあればこの場で言っていきたい。最終的にはこの5つの中から2つ3つ深掘りして政策提言に繋げたい。結果として、政策提言できない状態になるかもしれないが、深掘りをしていくという考えでいる。この5つ以外で提案があれば発言を。

(発言なし)

今日の目標は、5つの提案の内から、政策提言として取り上げるテーマとしても良いという事を全員で合意させていただいて、それを深掘りしていきたい。多数決で決めたくはないので、ご発言をお願いしたい。

宮川委員：市内交通サービスの充実に向けた取組について、具体的にどういう事をイメージしているのか。

関戸委員長：具体的には、市内巡回のバスで、最終的に無人自動運転システムができたらいいなという政策提言。

片岡委員：愛知県内においても、長久手や常滑でテストを行っており、岩倉市内でもふれ愛タクシーという事業はあるが、より市民のサービスを考えたときに、どうなのかなと思った。

堀委員：私は、駅東の賑わい作りと、交通サービスの充実に向けた取組の2点を推す。というのは、萩原多気線が今、拡幅工事をやっている。あのラインは緑のネットワークとしての役割と、駅東、駅から北島までの一本道のアクセスの道路で、よく聞くのは、居酒屋に行くのにタクシーしかないということで、ふれ愛タクシーの利用もできるが、やはり正規のルートで時間帯にとらわれず、岩倉駅の中心の賑わいの所へ行って帰ってくるという事も高齢者の移動権の確保という観点から見て、こういうコンパクトな街だとしても必要なのかなと考え、この二つを同時に進めていくというので関連性があるのかなと思う。

梶谷委員：堀委員と同じ意見。デマンドタクシーからふれ愛タクシーになったの
評価は、毎月利用の件数とか、検証の場をここ総務にも欲しい。デマンドの時
に一番苦情があった、乗り合い率が少なく、断られる件数が多いという、そう
いった件数も減っているし、利用者も増えていると思うが、やはり、もう少し、
土曜日とか、長い時間が欲しいとか。1時間は伸びたが、病院は土曜日もやっ
ているから土曜の要望も聞く。無人システムまでどうかはまだ分からないが、
他所でやっているような事をもっと調査、研究していく。私は議員になった時
からずっと、巡回バスを要望してきたが、せつかく石仏駅が整備されるので、
前からの課題の市外の巡回バスとのアクセス、石仏なら、すぐ近くまで一宮市
のふれあい巡回バスが来ているし、もう少し遠いが小牧の巡回バスも来てい
て、石仏駅まで来てもらえると、小牧市民病院や一宮市民病院、千秋病院も岩
倉市民が利用できる。鉄道駅と各市町だけでやっている巡回バスを市外の人
も利用できるように、鉄道駅と巡回バスを繋ぐ、そういった課題も言われてお
り、それもプラスして、ここのふれ愛タクシー事業で増やせるといいかなと。
やはり、弱者の足という点で考えるという事で。

水野委員：自動運転システムだとかの交通は大事だと思っている。将来的に自動
運転とかを目指すということであれば、駅の周辺の賑わいもあるし、横展開と
いうか、もしこの提案が上手く行った場合にさらに自動運転で幼稚園児の送
迎とか、そういう話に広がっていくと思うので提案する価値はあるのかなと
思う。

宮川委員：将来に夢を与えるという意味合いで行くと、自動運転をどうやって誘
致するのか、誘致するにあたって一番に基盤を整備しなければいけないのは
通信、5Gが当然でてくる。市内の交通ということも念頭において具現化する
ための政策を提言していく必要がある。現実と夢を両方追うのもいいかなと
思う。このことに関しては首長がやる気にならないと、この自動システムは実
験すらできない。

谷平委員：私も、賑わいと市内交通、無人のバスとか、今のふれ愛タクシーでは
なくもっと幅広く岩倉市内を動ける市民の足に広げる。また、月一回とか、居
酒屋等の利用時に使えるプレミアム券みたいなものを作るのも、お店がまた
盛り上がりいいなと思ったりするが。

片岡委員：堀委員が言われた事も面白いと思うし、2つをつなげて考えるという
のもあるし。水野委員が言われた様な、そういう展開もありだなとか。とにか
く、私は希望を持てるような提案を当局にできればいいかなと思う。私が選ん
だもので、皆さんが同意してくれるなら、この2点を掘り下げて、もしかした
ら、違う形になるかもしれないが、これをきっかけに委員会としての提案を考
えていただければ幸い。

関戸委員長：おおむね、この2つの絞られたと思う。水野議員が出された5Gも関連させてやっていけると思う。この2つを掘り下げてやっていくという事でよろしいか。

(異議なし)

関戸委員長：では、合意したということでお願いする。今後の展開だが、テンプレートで目標とかスケジュールとか予算とか色々書いてあるが、委員の意見をどこでも箇条書きでもいいのでまとめていただいて、事前に私の方へいただければ、次の会議の前までに整理して皆さんにお渡しする。そこから1つ1つ掘り下げていくようなやり方で進めたいが、他に何かあればご提案いただきたい。

片岡委員：今言われたのは、この2つのことについて、テンプレートの中で各々が考えを入れてくれと。それを、まとめていただけるという事か。

関戸委員長：その通り。そして、それを深掘りしていく。調査項目が出てくれば、それぞれの方に項目を振って調査してください、というやり方にしようかと思っている。ある程度、項目がないと広がり過ぎてしまうので。

片岡委員：今年は視察が難しいと思うが、テスト的に街づくりとセットにして、こういう交通システムをやっている事例がある所が愛知県の中にも探せばあると思うので、そういった事例を紹介するというやり方でも良いか。そして、可能であれば、来年に向けてそれを視察に行くと。向こうから資料を取り寄せたりする等いろいろな方法もあると思うので、そういった提案でも良いか。

関戸委員長：そういった提案で良い。3月に政策提言するという目標は立てているが、しっかり深掘りしてしっかりした政策提言をしていきたいので、時間をかけてやろうと思う。勉強という部分がかなり増えてくるかもしれないがご配慮していただきたい。

宮川委員：(音声不明瞭)

関戸委員長：次回までに視察やこんなテーマというのを、できれば事前に言っていただければ、次の会議で諮るのでお願いしたい。

堀委員：宮川委員が言ったことは多分皆さん中々理解できないと思う。労働運送法と公共交通会議的な在り方を言われたと思うが、もう少し簡略的な資料を用意いただければありがたい。

宮川委員：(音声不明瞭)

(2) その他

なし

9 その他

なし